



宮城県職員（研究員）募集要項

令和 7 年 4 月 22 日
宮 城 県

令和 7 年度宮城県職員（研究員）採用選考考査を、次のとおり行います。

1 職種・採用予定人員・職務内容

職 種	採用予定人員	職 務 内 容
研究員 (材料物質系)	1 人程度	宮城県産業技術総合センター等に勤務し、材料物質系の研究開発、技術支援、技術相談等の業務に従事します。
研究員 (情報系)	1 人程度	宮城県産業技術総合センター等に勤務し、情報系の研究開発、技術支援、技術相談等の業務に従事します。
研究員 (電気電子系)	1 人程度	宮城県産業技術総合センター等に勤務し、電気電子系の研究開発、技術支援、技術相談等の業務に従事します。

2 応募資格

- 平成 2 年 4 月 2 日から平成 16 年 4 月 1 日までに生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業若しくは令和 8 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの人又はこれらと同等以上の経歴を有すると認められる人。
なお、平成 16 年 4 月 2 日以降に生まれた人で次に該当する人も応募できます。
 - 学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した人及び令和 8 年 3 月までに卒業する見込みの人
 - 宮城県人事委員会が①に掲げる人と同等の資格があると認める人
- 次のいずれかに該当する人は、(1)の要件を満たしても**応募できません**。
 - 地方公務員法第 16 条の各号のいずれかに該当する人
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
 - 宮城県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない人
 - 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、地方公務員法第 60 条から第 63 条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた人
 - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
 - 平成 11 年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている人（心神耗弱を原因とする人を除く。）

3 考查の実施時期・考查種目・考查会場

考查の実施時期		考查種目	考查会場
第一次 考查	6月15日(日) 受付開始 9:00 着席時刻 9:40 終了予定 15:45	教養考查 (択一式)	【仙台】 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス (仙台市宮城野区榴岡2-5-26) 【東京】 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター (東京都新宿区市谷八幡町8)
		専門考查 (短答式)	【大阪】 TKPガーデンシティ大阪梅田 (大阪府大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル) ※ 申込状況等により、仙台、東京、大阪 における考查会場を変更する場合がありますので、受考票を必ず確認してください。
第二次 考查	7月8日(火) ～7月11日(金) のうち指定する日	適性検査 人物考查	仙台市内

- (注) 第2次考查の詳細や提出書類は、第1次考查合格者に書面でお知らせします。
(注) 災害の発生等やむを得ない事情により考查日時、考查会場、合格発表などを変更する場合には、宮城県職員採用試験情報サイト(<https://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/>)でお知らせします。

宮城県職員採用試験情報サイト



注意事項

各考查会場には駐車場・駐輪場はありませんので、自動車、バイク及び自転車での来場はご遠慮ください。また、送迎のために考查会場周辺で路上駐停車することもご遠慮ください。

4 考查内容

考查種目	内 容
第一次 考查	教養考查 (択一式) 公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能についての筆記考查 (題数 50 題 時間 150 分)
	専門考查 (短答式) 各職種に応じて必要な専門的知識、技術等についての短答式による筆記考查 (時間 120 分)
第二次 考查	適性検査 職務を行うのに必要な適性についての検査
	人物考查 公務員としての適格性についての人物面からの考查 (個別面接)
資格調査	応募資格の有無、受考申込書に記入された内容の真否等についての調査

- ※ 筆記考查の出題は、日本語の活字印刷文により行い、解答も日本語でしていただきます。
また、人物考查における面接は全て日本語による質問・応答になります。

5 考査の配点及び合格者の決定方法

(1) 配点

職 種	第1次考査			第2次考査		総合得点
	教養考査	専門考査	計	人物考査	計	
全 職 種	100	100	200	200	200	400

- ※ 第2次考査の適性検査については、適否のみ判定し、得点化しません。
- (2) 最終合格者は第1次考査、第2次考査の結果を総合して決定します。
- (3) 各考査種目の得点は、原則として標準点化します。標準点とは、平均点、標準偏差等を用いて算出するもので、受考者の点数は、おおむね0点から100点（人物考査については200点）に分布し、平均点は50点（人物考査については100点）となります。ただし、考査種目ごとの受考者数によっては、標準点化しない場合もあります。
- (4) 各考査種目において、それぞれの合格基準に満たない種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。

6 考査の出題分野

(1) 教養考査（択一式）

職 種	出 題 分 野
全 職 種	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈

(2) 専門考査（短答式）

職 種	出 題 分 野
研究員(材料物質系)	材料工学、材料化学、分析化学、物理化学
研究員(情報系)	情報工学、プログラミング、制御工学、電子工学、データサイエンス
研究員(電気電子系)	電気電子計測、電気電子回路、電磁気学、電気電子材料、半導体工学

7 専門考査（短答式）の考査問題例

別紙を参照してください。

8 受考上の配慮

障害により、車椅子等を使用するなど、受考上の配慮を希望する人は、受考申込時に宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話（022）211-2227）に連絡してください。

9 申込受付期間・受考手続等

インターネット（電子申請）により申し込んでください。

申込受付期間	<p><u>令和7年4月22日（火）午前9時から5月15日（木）午後5時まで</u></p> <p>※ 受考申込期間の最終日は、みやぎ電子申請サービス（LoGoフォーム）へのアクセスが集中し、申込手続に時間がかかる場合があります。また、通信回線上の障害が原因であっても、申込受付期間を過ぎると受付できませんので、余裕をもって早めに申込手続を行ってください。</p>
申込方法及び申込先	<p>次ページ「電子申請フロー図」及び宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる申込方法」などをよく確認の上、下記URL又は二次元バーコードからみやぎ電子申請サービス（LoGoフォーム）にアクセスし、申し込んでください。</p> <p>URL https://logoform.jp/form/GQGB/1004139</p> 
受考票の交付	<p><u>令和7年5月30日（金）頃に発行します。</u></p> <p>「受考票」を電子メールで送付しますので、第1次考査当日に持参してください。</p>

※ インターネットによる申込みができない特段の事情がある場合は、4月30日（水）までに宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話（022）211-2227）に連絡願います。

<<よくある質問>>

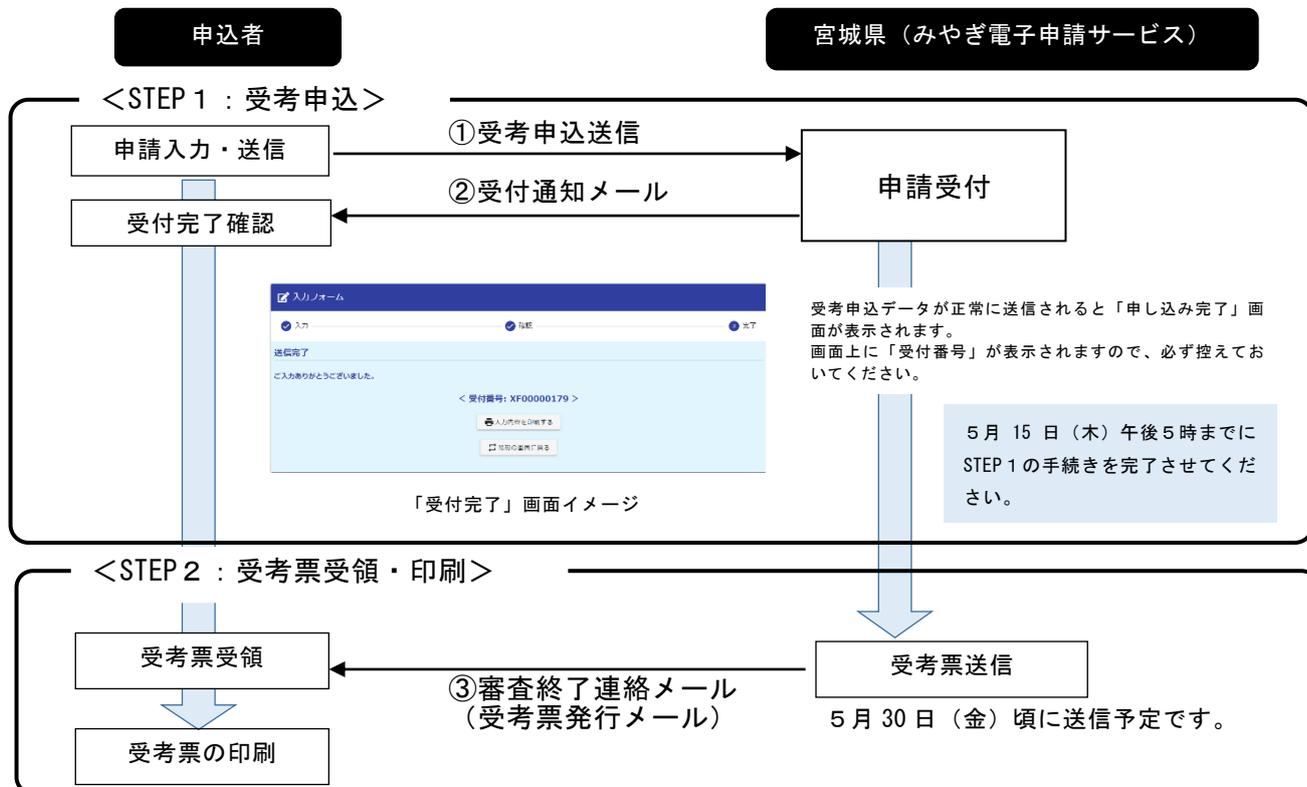
- ① 自宅にパソコンがない場合、どうすればよいですか。
スマートフォンからも申込可能です。また、ご自宅のパソコンでなくても構いませんので、学校等のパソコンなどを使用して申し込んでください。
- ② 受考票等を印刷するためのプリンタを所有していない場合、どうすればよいですか。
ご自宅のプリンタでなくても構いませんので、学校等のプリンタやコンビニのマルチコピー機などを利用して印刷してください。

電子申請フロー図

宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる申込方法」を必ず確認してください。

■申込みには、次のものがが必要です。

- ・パソコン又はタブレット端末若しくはスマートフォン（一部非対応機種あり）（携帯電話は不可）
- ・本人のメールアドレス
- ・A4サイズが出力できるプリンタ（コンビニのプリントサービスの利用も可）



10 合格発表・採用時期等

- (1) 第1次考査の合格発表は、令和7年6月27日(金)(予定)に、第2次考査の合格発表は、令和7年8月中旬に、合格者の受考番号を宮城県行政庁舎1階に掲示します。また、宮城県職員採用試験情報サイトに掲載するほか、合格者に書面でお知らせします。
- (2) 最終合格者については、面接を経て、原則として令和8年4月1日以降に採用する予定です。ただし、大学を卒業する見込みの人は、大学を卒業できなかった場合には採用されません。
なお、既に大学を卒業している人等については、令和7年10月1日以降に採用する場合があります。
- (3) 詳細については、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227）にお問い合わせください。

11 考査結果の提供

- (1) この考査の結果については、開示請求によらずに即日提供を受けることができます（次ページ表参照）。
提供を希望する場合は、受考者本人が、受考票及び本人であることを証明する書類等（運転免許証、マイナンバーカード（個人番号カード）等）を持参の上、午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。）に、次ページ表の提供場所に直接おいでください。

なお、電話により考査結果の提供を受けることはできません。

提供を受けることができる人	提供内容	受付期間	提供場所
第1次考査不合格者	考査種目別の 得点、総合得点 及び総合順位	第1次考査合格発表日 から1か月間	宮城県人事委員会事務局 (仙台市青葉区本町3丁目8-1 (県庁17階))
第1次考査合格者		最終合格発表日 から1か月間	

(注) 第1次考査合格者のうち第2次考査のいずれかの考査種目を受考しなかった人には、総合得点及び総合順位は付されません。

- (2) 考査結果の提供についての詳細は、宮城県人事委員会事務局（電話 (022)211-3761）にお問い合わせください。

12 採用時の給与

- (1) 宮城県産業技術総合センターに配属された場合の大学新卒者の初任給は、地域手当を含め、おおむね次のとおりです。(令和7年4月現在)

職種	学歴	初任給
全職種	大学卒	(試験研究業務に従事する場合) 247,800円

- (2) 民間等における職歴がある場合は、一定の基準により職歴期間を加算の上、初任給が決定されます。
- (3) (1)のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（年間約4.6か月分）等がそれぞれの要件により支給されます。

13 外国人の場合の任用上の制限

外国籍の職員は、担当できる職務等に次のような制限があります。

- (1) 県民等に対して身体・財産の権利を制限することとなる職務など公権力の行使に該当する職務は担当できません。
- (2) 研究・医療等の専門的業務、県民サービスを目的とする施設の運営業務、内部管理業務など公の意思形成に関与しない業務に従事する場合には、課長級以上の職への就任も可能です。

問合せ先

宮城県総務部人事課人事企画・研修班

所在地 〒980-8570

仙台市青葉区本町三丁目8-1

電話 (022) 211-2227

メール saiyou@pref.miyagi.lg.jp

宮城県職員採用試験情報サイト

<https://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/>



専門考査（短答式）の考査問題例

研究員（電気電子系）の考査問題例

No. 1 図 1-1 は磁性コアのインダクタンスを用いた、代表的な 2 端子回路用ノイズフィルタの回路図である。次の（1）から（4）の問いに答えよ。

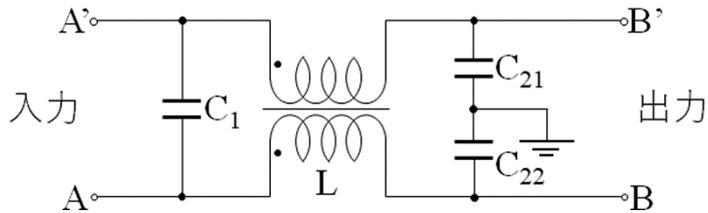


図 1-1

- (1) コモンモードノイズについて、端子 A, A' に入力するノイズ信号の位相の観点から説明せよ。
- (2) ディファレンシャルモードノイズについて、端子 A, A' に入力するノイズ信号の位相の観点から説明せよ。
- (3) 図 1-1 のキャパシタ C_1 は、コモンモードとディファレンシャルモードのどちらのノイズを減衰させるのに有効か、その理由とともに述べよ。
- (4) チョークコイル L の磁性コアにリング状フェライトを用いた場合、コモンモードノイズの阻止に有効なコイルの巻き方は図 1-2, 図 1-3 のどちらか答えよ。また、その理由を、それぞれの図について、コイルに生じる電流と磁力線の方向を図示しつつ、この際 L に生じるインダクタンスの大小を考察して説明せよ。

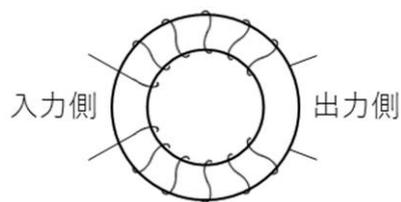


図 1-2

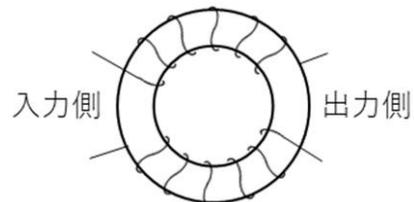


図 1-3